

MXUL6-MX(開発中)

i.MX 6UltraLite は i.MX 6 の名を関していますが、製品セグメントとしては小型・低価格の ARM9 系デバイスである i.MX 25 などの置き換えを目指した製品ですが、コアは CortexA7 で CPU 性能は 2 倍程度 (DMIPS 換算で i.MX25 が 440 i.MX 6UltraLite が 1003 プラス NEON も使用可)、IO の拡張性は高く、デバイスはむしろ低価格で、SBC としての主要 LSI は CPU+SPI-NOR 一個+DDR 一個だけ、殆どのボードコンピュータは 4 層貫通基板で実現できます。

i.MX 6 などまでは考えにくい、旧くからの ARM9/11 系で作られた小型の表示器システムや、SH などローカルバスにペタペタと IO を拡張したシステムなど、既存のアプリケーションを、この新しく (今後 10 年から 15 年製造される) 廉価な新 SOC で、小さく安く Remake/延命されてはいかがでしょうか。



※写真は現品ではなく製品仕様に近い当社の別製品(AM335x-MX)

●製品パッケージとして以下のものがあります。

- 1) MXUL6-MX IP セット MXUL6-SX ボードの CPU 部 (下記ハードウェアがそれにあたる) の、回路図・部品表・ガーバーデータ・Uboot・Linux カーネル部およびモジュールを使った製品の製造権
- 2) MXUL6-MX セミカスタムパック MXUL6-MX をベースに、ユーザー指定の IO 部を拡張した CPU ボードを SBC として開発するものです。 1 から SBC を開発するのではなく、ベースモジュールを基に拡張された IO 部だけを追加開発するもので、基本 CPU 部は既に動作している MXUL6-MX のアートを基本的に使いますので、開発期間は短縮され費用も廉価です。
- 3) MXUL6-MX 単体での販売は現在のところ予定していません。

●ハードウェア

CPU i.MX 6UltraLite 528MHz (CortexA7)

メモリー RAM : DDR3 SDRAM 128MB/256MB/512MB ROM : SPI-Nor (32/64/128MB)

LAN : 10/100BASE x 2 USB : HOST x 1 / OTG x 1 CAN

カメラ : CSI x 2 LCD : CMOS-LCD AD コンバータ PWM Timer

RTC/WDT UART : 最大 8 ポート 電源 : DC3.8~4.5V 基板寸法 : TBD

●ソフトウェア

OS Linux (YoctoLinux Qt5.3 サポート 5.5 計画)



テラソリューション株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-6 大宮第 2 ビル

Mail info@terasolution.jp

URL <http://www.terasolution.jp/>